

所 管	200000 建設水道部
関 連	010000 総務部
関 連	050000 市民生活部

◆ミッション

- ・ 少子高齢化や人口減に対応した市民の生活形態に合わせた、持続可能な地域公共交通ネットワークの形成を図る。
- ・ コンパクトシティのまちづくりによる都市環境の整備により、生活利便性の維持・向上を図る。
- ・ あらゆる世代の市民が安心して暮らせるように、公平性のある社会資本の整備や効率的な施設の長寿命化とともに防災力の強化を図る。

◆方 針

- ◎地域公共交通ネットワークの構築と持続可能で利便性の高い交通システムの維持を図る。
都市機能や居住が集積している都市の中心拠点及び生活拠点に対して、デマンド交通の「こもろ愛のりくん」と定時定路線「愛のり すみれ号」の運行により、公共交通によるアクセスが比較的容易となる環境を整備し、商業施策、医療・福祉施策、住宅施策、観光施策などの分野との連携を推進する。
公共交通の充実によって、交通弱者の移動手段の確保や維持を図り、誰もが安心して利便性の高い生活ができる環境を目指す。
- ◎多極ネットワーク型コンパクトシティの形成促進を図る。
低炭素なまちづくりを目指し、都市全体の観点から、居住区域や都市機能の立地、公共交通の充実等に関し、まちづくりに係る関係施策と連携し取り組む。
都市機能が集約された中心市街地の商業の活性化や文化財・歴史的建造物を活かした観光の振興により、賑わいを再生しつつ、生活の利便性の向上により、定住促進を図る。
- ◎効率的で公平性の高い社会基盤の整備を進める。
市内全橋梁の5年に一度の法定点検を計画的に実施し、将来の維持・更新費用を抑制するための、長寿命化工事を推進する。
道路、橋梁、上水道、トンネル等の主要施設である社会基盤の老朽化対策と年々、増加する生活道路の維持補修などのインフラ全体の老朽化対策と並行して、維持管理・修繕の合理化を進める。
市内の幹線道路整備や交通安全対策など建設事業計画や生活道路の整備・修繕については、最小の経費で効率的に公平性の高い整備を計画的に行う。
- ◎災害に強いまちづくりを進める。
地域全体で安全・安心なまちをつくるため、関係機関の連携強化と住民意識の高揚を図る。

◆平成30年度重点方針と目標

- コンパクトで低酸素な都市実現のため、立地適正化計画の策定と共に都市再生整備計画事業を着実に実行し、中心拠点整備を行う。また、公共交通ネットワークについては、継続して、まちづくりと連携した見直しを進める。
- 立地適正化計画は策定最終年度であり、都市機能誘導区域と居住誘導区域を設定し、今後の計画の推進を図る。
- 橋梁等の法定点検や道路ストック点検に基づき、長寿命化計画を効果的に推進する。
- 上水道事業基本計画の着実な推進。
- 公民連携による水道事業運営の具体化。
- 自主防災組織の組織化と、各区単位で実施する防災訓練の推進の取り組みを通し て市民の防災意識の向上を図る。
- 消防庁舎の再構築のため、設計業務を完了し、建設工事請負契約の締結を行う。

◆目標の実現に向けた今後の取り組み

- 多極ネットワーク型コンパクトシティの理念のもと、立地適正化計画に基づき、公共施設、総合病院、商業施設等など、生活に必要な多様な都市機能と持続可能な公共交通ネットワークが連携したまちづくりを目指す。
- 社会資本施設の長寿命化・耐震化計画に基づき、最小の経費で社会基盤整備を効率的、計画的に実施する。
- 小諸市上水道事業基本計画に基づき、将来に向けて、安価で安定した上水道事業の継続を図る。そのため、公民連携による水道事業運営へのスムーズな移行と着実な実行を推進する。
- 全ての区で、自主防災組織が組織化されるよう支援するとともに、区単位で実施する防災訓練の推進を図る。
- 市民の安全・安心を守る拠点としての消防庁舎の再構築に向け、着実に事業を進める。

政策 5	安心して快適に暮らせるまち
施策 5-1	コンパクトシティのまちづくりを進め、中心市街地の魅力を再生します

所 管	200500 建設水道部・都市計画課
関 連	150100 産業振興部・商工観光課
関 連	—
関 連	—
関 連	—
関 連	—

◆現状と課題

市庁舎・図書館等の公共施設、総合病院の整備が完了したが、庁舎・病院等を利用する市民にとって飲食や買い物に利便性が高く、市を訪れる観光客等にとっては小諸駅を拠点に回遊できるような、魅力ある中心市街地となっていない。商業振興によるまち再生と、小諸駅、市庁舎周辺の都市的機能、重要文化財等歴史的資産がコンパクトにまとまる特徴を活かした、歩いて暮らせるまち、公共交通ネットワークで繋がるまちづくりを進める必要がある。

◆方 針

目 的

多極ネットワーク型コンパクトシティの理念のもと、公共施設、総合病院、商業施設や金融機関など、生活に必要な多様な都市機能が有機的に連携しあう、利便性の高い魅力ある快適に暮らせるまちづくりや、公共交通ネットワークが確立されたまちづくりを進めるため、立地適正化計画を策定し、計画に基づく施策・事業の推進を図る。併せて、小諸駅を拠点とし、懐古園や旧北国街道の重要文化財や歴史的建造物を活かした、回遊できる市街地の形成により、観光振興と移住・定住促進に繋げる。

◆平成30年度重点方針と目標

○立地適正化計画の策定を完了する。(策定最終年度) ○都市計画基本図の整備により、都市計画に係る適正な情報提供環境を整える。 ○多極ネットワーク型コンパクトシティの形成推進のため、複合型中心拠点誘導施設整備構想に基づき、第4期都市再生整備計画事業に着手し、都市機能の具体的な集約(整備)に係る複合施設の基本計画を策定するとともに、関連道路整備事業を推進する。 ○ほぼ整備が完了した大手門公園がイベントや観光周遊の拠点となる仕組み・体制づくりの検討を進める。 ○集約駐車場、有料駐車場の適正な運営管理を推進する。

◆目 標

・目標の計画と達成状況

計 画
①策定された立地適正化計画に基づき、利便性の高いまちづくりが進んでいる状態。 ②空き店舗が活用されるなど、商業の活性化等により、多様な都市施設が有機的に機能している状態。 ③徒歩で中心市街地を回遊でき、歴史的資産を活用したまち歩きができる状態。 ④小諸駅を中心に、鉄道、バス等公共交通ネットワークが整備され、連結して機能している状態。
設定理由
①計画によるまちづくりの推進が、中心市街地の魅力の再生に繋がるから。 ②買物や食事、医療といった生活の利便性の高いまちづくりが、賑わいの再生や移住・定住促進に繋がるから。 ③回遊性の高いまちづくりにより、市民や観光客など、より多くの皆さんに来ていただける魅力が増すから。 ④まちの顔である小諸駅を拠点に、交通弱者や観光客の利便性がより高まるとともに、定住促進に繋がるから。

◆実績

- 立地適正化計画の策定を完了した。
- 複合型中心拠点誘導施設整備基本計画を策定し、基本設計に着手した。
- 市道1013号線の改良工事に着手した。
- 市道1001号線、相生町二丁目交差点部の物件調査及び詳細設計を実施した。
- 大手門公園駐車場を供用開始させた。

◆成果指標（アウトカム）

・目標値の計画と達成状況

指標名	相生町商店街の歩行者数					
設定理由	市庁舎、図書館、総合病院等と駅周辺の公園等を結ぶ相生町通りの徒歩による人の増加が、歩いて暮らせるまちづくりの成果と考えられるから					
算式						単位 人
目標値	計画策定時		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	997	計画	1,052	1,107	1,162	1,218
		実績	816	1,283	1,333	
指標名	本町通りの歩行者数					
設定理由	本町通りの徒歩による人の増加が、中心市街地の回遊や歴史的資産を活用したまち歩きの結果と考えられるから					
算式						単位 人
目標値	計画策定時		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	506	計画	531	557	584	608
		実績	558	635	489	
指標名						
設定理由						
算式						単位
目標値	計画策定時		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
		計画				
		実績				

◆目標の実現に向けた今後の取り組み

- 都市再生整備計画事業（第4期H30～R2）の計画に基づき、事業を推進する。
- 立地適正化計画に基づき、都市機能及び居住の誘導に向けた事業等の検討を行う。
- 複合型中心拠点誘導施設整備事業の計画に基づき、事業を推進する。
- 集約駐車場及び市営駐車場（小諸駅・大手門公園）を、利用者にとって良好な状態に保つよう維持管理を行う。

◆個別計画

都市計画マスタープラン／立地適正化計画／複合型中心拠点誘導施設基本計画

◆特記事項

政策 5
 施策 5-1

安心して快適に暮らせるまち
 コンパクトシティのまちづくりを進め、中心市街地の魅力を再生します

事務事業名				
都市計画総務費運営費				
会計・款・項・目			所管課	
一般・8土木費・3都市計画費・1都市計画総務費			都市計画課	
事業概要				施策内順位
<ul style="list-style-type: none"> 都市計画制度に基づく都市計画の決定、変更 小諸市都市計画審議会の運営 小諸市景観審議会の運営 				4/4
				市長公約事項
				無
投入指標		平成28年度	平成29年度	平成30年度
	年度別事業費	7,426千円	5,412千円	22,778千円
	特定財源			
	国・県支出金	1,249千円	0千円	0千円
	地方債	0千円	0千円	0千円
	その他	390千円	0千円	290千円
	一般財源	5,787千円	5,412千円	22,488千円
事務事業名				
都市再生整備計画事業				
会計・款・項・目			所管課	
一般・8土木費・3都市計画費・3街路事業費			都市計画課	
事業概要				施策内順位
<ul style="list-style-type: none"> ●小諸宿周辺地区都市再生計画事業（第4期）H30年度～H32年度 複合型中心拠点誘導施設整備（福祉施設、コミュニティ交通ターミナル、商業施設、公共駐車場） 道路改良工事（市道1013号線） 				1/4
				市長公約事項
				無
投入指標		平成28年度	平成29年度	平成30年度
	年度別事業費	675,799千円	103,449千円	342,802千円
	特定財源			
	国・県支出金	88,411千円	15,500千円	112,110千円
	地方債	495,500千円	67,020千円	106,875千円
	その他	0千円	4,500千円	0千円
	一般財源	91,888千円	16,429千円	123,817千円
事務事業名				
相生町交差点改良事業				
会計・款・項・目			所管課	
一般・8土木費・3都市計画費・3街路事業費			都市計画課	
事業概要				施策内順位
<ul style="list-style-type: none"> 市道1001号線道路改良工事 				—
				市長公約事項
				無
投入指標		平成28年度	平成29年度	平成30年度
	年度別事業費	0千円	0千円	9,612千円
	特定財源			
	国・県支出金	0千円	0千円	4,806千円
	地方債	0千円	0千円	4,325千円
	その他	0千円	0千円	0千円
	一般財源	0千円	0千円	481千円

活動指標	指標名	単位		平成28年度	平成29年度	平成30年度
			計画			
			実績			
			計画			
			実績			
平成30年度 実績				特記事項		
○小諸市都市計画審議会 1回開催 都市計画駐車場の決定を行った。						
目標の実現に向けた今後の取り組み						
引き続き、都市計画に係る各種手続きを公正に行う。						
活動指標	指標名	単位		平成28年度	平成29年度	平成30年度
	相生町商店街の歩行者数	人	計画	1,052	1,107	1,200
			実績	816	1,283	1,333
	本町通りの歩行者数	人	計画	531	557	584
			実績	558	635	489
平成30年度 実績				特記事項		
<ul style="list-style-type: none"> 複合型中心拠点誘導施設に係る基本計画策定支援業務が完了し、基本設計業務に着手した。 市道1013号線道路改良に伴う、路線・用地測量及び実施設計業務、また、物件補償調査業務を完了した。 道路改良に伴う用地補償契約をし、工事着手した。 立地適正化計画を策定、公表した。 						
目標の実現に向けた今後の取り組み						
<ul style="list-style-type: none"> 市道1013号線道路改良工事を11月までに完成させる。 複合施設建設に伴う実施設計の技術協力業務プロポーザルを実施し、優先交渉権者を決定する。 複合施設建設に伴う実施設計業務を実施し、令和2年3月の工事請負契約を目指す。 立地適正化計画に基づき、都市機能及び居住の誘導に向けた事業等の検討を行う。 集約施設周辺の歩行者量調査を実施する。(年2回、4月と10月) 						
活動指標	指標名	単位		平成28年度	平成29年度	平成30年度
	相生町商店街の歩行者数	人	計画			1,200
			実績			1,333
			計画			
			実績			
平成30年度 実績				特記事項		
<ul style="list-style-type: none"> 交差点改良工事に伴う物件補償調査業務及び詳細設計業務を実施し、建物及び土地所有者、また、テナント事業者との交渉を行う。 						
目標の実現に向けた今後の取り組み						
<ul style="list-style-type: none"> 減築工事に関わる所有者及びテナント事業者と用地補償契約を締結し、10月から減築工事に着手し、2月に完成させる。 県規制課、小諸警察署等関係機関と、交差点の線形、信号機の移設先等について現地確認する。 交差点改良工事は概ね11月に発注し、年度内竣工を目指す。 						

政策 5
 施策 5-1

安心して快適に暮らせるまち
 コンパクトシティのまちづくりを進め、中心市街地の魅力を再生します

事務事業名				
市営駐車場管理事業				
会計・款・項・目			所管課	
一般・8土木費・3都市計画費・5交通政策費			都市計画課	
事業概要				施策内順位
・市営小諸駅駐車場及び市営大手門公園有料駐車場における、適正な点検・管理による利便性の確保				2/4
				市長公約事項
				無
投入指標		平成28年度	平成29年度	平成30年度
	年度別事業費	4,149千円	4,036千円	5,539千円
	特定財源 国・県支出金	0千円	0千円	0千円
	地方債	0千円	0千円	0千円
	その他	4,149千円	4,036千円	5,539千円
	一般財源	0千円	0千円	0千円
事務事業名				
集約駐車場管理事業				
会計・款・項・目			所管課	
一般・8土木費・3都市計画費・5交通政策費			都市計画課	
事業概要				施策内順位
市営中央地下駐車場（第1駐車場）・市営中央西側駐車場（第2駐車場）・市営赤坂駐車場（第3駐車場）における、適正な点検・管理による利便性の確保				3/4
				市長公約事項
				無
投入指標		平成28年度	平成29年度	平成30年度
	年度別事業費	0千円	29,172千円	19,509千円
	特定財源 国・県支出金	0千円	0千円	0千円
	地方債	0千円	0千円	0千円
	その他	0千円	17,254千円	8,719千円
	一般財源	0千円	11,918千円	10,790千円

指 標 名		単 位		平成28年度	平成29年度	平成30年度
活動 指 標	駐車場施設の定期点検回数	回	計画	12	12	12
			実績	12	12	12
平成30年度 実績				特 記 事 項		
<ul style="list-style-type: none"> ・ 日常的な点検を行ない、放置自転車処分を2回行った。 ・ 大手門公園駐車場整備が完了し、H30. 4. 1供用開始させた。供用開始に合わせ、小諸駅駐車場の料金も改正した。 ・ H30. 12. 25両駐車場の料金を改正した。 						
目標の実現に向けた今後の取り組み						
<ul style="list-style-type: none"> ・ 適切な維持管理を行うため、直営でのパトロールを実施する。 ・ 駐車場料金の改正に伴い、駐車台数、収入額等のデータを取り分析する。 						
指 標 名		単 位		平成28年度	平成29年度	平成30年度
活動 指 標	駐車場施設の定期点検回数	回	計画	2	2	4
			実績	2	2	4
	駐車場内のパトロール	日	計画	365	365	365
			実績	365	365	365
平成30年度 実績				特 記 事 項		
<ul style="list-style-type: none"> ・ 駐車場利用者の利便性を高めるため、管制機器及びエレベーター等の保守点検、駐車場内の誘導・補助作業、24時間体制によるトラブル対応等を実施した。 ・ こもろ医療センターとの連携会議の開催をした。 						
目標の実現に向けた今後の取り組み						
<ul style="list-style-type: none"> ・ ロータリー内の警備員、駐車場内の誘導員と連携し、利用者の意見・要望を聞き取り、利便性の向上を図る。 ・ 常時良好な状態を保つように、駐車場設備（発行機、精算機、エレベーター等）の点検を行う。 ・ こもろ医療センターとの連携会議をする。 						

政策 5

安心して快適に暮らせるまち

施策 5-1

コンパクトシティのまちづくりを進め、中心市街地の魅力を再生します

事務事業名	
都市計画総務費給与費	
会計・款・項・目	所管課
一般・8土木費・3都市計画費・1都市計画総務費	都市計画課
事務事業名	
県街路事業負担金	
会計・款・項・目	所管課
一般・8土木費・3都市計画費・3街路事業費	都市計画課

		平成28年度	平成29年度	平成30年度
投入指標	特定財源			
	年度別事業費	70,864 千円	63,770 千円	65,570 千円
	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円
	その他	0 千円	12,374 千円	0 千円
	一般財源	70,864 千円	51,396 千円	65,570 千円
		平成28年度	平成29年度	平成30年度
投入指標	特定財源			
	年度別事業費	7,007 千円	5,418 千円	6,559 千円
	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円
	その他	0 千円	0 千円	0 千円
	一般財源	7,007 千円	5,418 千円	6,559 千円

政策 5	安心して快適に暮らせるまち
施策 5-2	新しい地域公共交通ネットワークを構築します

所 管	200500 建設水道部・都市計画課
関 連	—
関 連	—
関 連	—
関 連	—
関 連	—

◆現状と課題

民間公共交通の廃止や縮小傾向の加速化で、通勤通学手段が無くなりつつあるとともに、超高齢化社会の進展等により交通弱者が増加している。また、小諸駅を中心に市を訪れる観光客の移動交通手段がないといった状況にある。通勤・通学や交通弱者の移動手段を確保・維持するとともに、市を訪れた観光客等も利用できるよう、中心市街地やそれぞれの地域が公共交通で有機的に繋がっている安心して快適に暮らせるまちづくりを進める必要がある。

◆方 針

目 的

デマンド型予約制相乗りタクシー「こもろ愛のりくん」を基本に、様々な移動手段に対応した新しい地域公共交通ネットワークを構築する。また、持続可能な地域公共交通の仕組みづくりのために、利用者の要望等に沿った改善を図るとともに、運営組織や運営経費、受益者負担のあり方等を総合的に検討する。

◆平成30年度重点方針と目標

- 「こもろ愛のりくん」「愛のりすみれ号」の利用促進、特にこもろ愛のりくんの利用登録者のさらなる拡大を図る。
- 持続可能なコミュニティ交通の構築に向け、利便性・効率性の両立を図る。
- 周辺市町を結ぶ幹線的な公共交通（鉄道・幹線バス）の利便性の確保を図る。

◆目 標

・目標の計画と達成状況

計 画
①自家用車等の移動手段のない市民が、公共交通網を利用して移動したいときに移動できる状態。 ②観光客等が公共交通を利用して観光地等を巡ることができる状態。 ③利用者が満足するネットワークが構築され、かつ、公共サービスとして持続可能な運営となっている状態。
設定理由
①交通弱者の移動手段を確保する必要があるから。また、過度に自家用車に頼ることなく、通勤・通学、通院や買物等に出かけることができるから。 ②鉄道、バス等が連結した利便性の高い公共交通の提供が、移住・定住や交流人口の増加につながるから。 ③行政の財政負担や利用者（受益者）負担を含め適切な経費負担による運営が、持続可能な地域公共交通システムとなることから。

◆実績

- 予約制相乗りタクシー「こもろ愛のりくん」及び定時定路線「愛のりすみれ号」の運行改善を実施し、利便性の向上を図った。
- しなの鉄道の増便事業を実施し、利用客の利便性向上を図った。

◆成果指標（アウトカム）

・目標値の計画と達成状況

指標名	コミュニティ交通利用者数（延べ人数）					
設定理由	利用者の増加が公共交通の利便性に対する評価と考えられるから					
算式						単位 人
目標値	計画策定時		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	85,000	計画	86,000	87,000	88,000	89,000
		実績	66,058	70,185	74,472	
指標名	こもろ愛のりくん・愛のりすみれ号の乗車率					
設定理由	運行効率が上がることで運営経費が抑制され、持続可能な運営に繋がるから					
算式						単位 %
目標値	計画策定時		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	35	計画	36.5	38	39	40
		実績	32.4	31.5	33.75	
指標名						
設定理由						
算式						単位
目標値	計画策定時		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
		計画				
		実績				

◆目標の実現に向けた今後の取り組み

- 「こもろ愛のりくん」及び「愛のりすみれ号」について、引き続き運行改善に努める。
- 「こもろ愛のりくん」の利用登録者拡大のため、周知を行うとともに具体策を検討する。
- 幹線的な公共交通について、持続可能な運行をめざし、沿線自治体と協議を行い支援事業等を検討する。

◆個別計画

地域公共交通網形成計画／都市計画マスタープラン／立地適正化計画

◆特記事項

政策 5
 施策 5-2

安心して快適に暮らせるまち
 新しい地域公共交通ネットワークを構築します

事務事業名				
交通政策費運営費				
会計・款・項・目			所管課	
一般・8土木費・3都市計画費・5交通政策費			都市計画課	
事業概要				施策内順位
<ul style="list-style-type: none"> ・しなの鉄道活性化協議会等への負担金の交付 ・JR小海線三岡駅及び美里駅のトイレや駐輪場の維持管理 ・小諸高等学校、水明小学校のスクールバス運行 				2/2
				市長公約事項
				無
投入指標		平成28年度	平成29年度	平成30年度
	年度別事業費	29,338千円	157,709千円	44,317千円
	特定財源 国・県支出金	0千円	0千円	0千円
	地方債	10,900千円	53,100千円	0千円
	その他	0千円	0千円	0千円
一般財源	18,438千円	104,609千円	44,317千円	
事務事業名				
公共交通事業				
会計・款・項・目			所管課	
一般・8土木費・3都市計画費・5交通政策費			都市計画課	
事業概要				施策内順位
予約制相乗りタクシー「こもろ愛のりくん」と定時定路線「愛のりすみれ号」を基本としたコミュニティ交通の運行と改善				1/2
				市長公約事項
				一部
投入指標		平成28年度	平成29年度	平成30年度
	年度別事業費	95,174千円	75,862千円	81,927千円
	特定財源 国・県支出金	0千円	0千円	0千円
	地方債	0千円	0千円	0千円
	その他	0千円	537千円	4,115千円
一般財源	95,174千円	75,325千円	77,812千円	

指 標 名		単 位		平成28年度	平成29年度	平成30年度
活動 指標	小諸駅（しなの鉄道）の年間乗降客延べ人数	人	計画	1,190,000	1,190,000	1,190,000
			実績	1,125,108	1,148,030	1,141,256
	小諸駅（JR）の年間乗降客延べ人数	人	計画	540,000	540,000	540,000
			実績	610,047	643,042	661,262
平成30年度 実績				特 記 事 項		
<ul style="list-style-type: none"> 増便事業等の実施により、しなの鉄道の利便性の向上が図った。 JR小海線三岡駅及び美里駅トイレ等の施設について、清掃等適切な維持管理を行った。 						
目標の実現に向けた今後の取り組み						
しなの鉄道および千曲バス佐久上田線への支援により、幹線的公共交通の確保を図る。						
指 標 名		単 位		平成28年度	平成29年度	平成30年度
活動 指標	コミュニティ交通利用者数（延べ人数）	人	計画	86,000	87,000	88,000
			実績	66,058	70,185	74,472
	こもろ愛のりくん、愛のりすみれ号の乗車率（%）	%	計画	36.5	37	38
			実績	32.4	31.5	33.8
平成30年度 実績				特 記 事 項		
<ul style="list-style-type: none"> 予約制相乗りタクシー「こもろ愛のりくん」および定時定路線「愛のりすみれ号」の運行改善を実施した。 						
目標の実現に向けた今後の取り組み						
利用浸透を促すとともに、利便性と効率性を確保した、運行時間や路線、料金などのコミュニティ交通の形態を検討する。						

政策 5	安心して快適に暮らせるまち
施策 5-3	社会基盤の整備と長寿命化を進めます

所 管	200100 建設水道部・建設課
関 連	200500 建設水道部・都市計画課
関 連	—
関 連	—
関 連	—
関 連	—

◆現状と課題

道路・橋梁・河川は、必要な機能を維持するための修繕が中心となっており、生活道路の事業要望、幹線道路の舗装改良、橋梁の修繕・耐震補強、河川の護岸保全などは、計画的な整備ができてない状況である。国土地籍調査は、計画区域を予定どおり完了するため、継続で実施している複数の地区を同時に進める必要がある。空家対策は、実態把握調査と2次調査の結果を踏まえた「特定空家等」の指定に伴い、所有者による除却等の促進を図ることが課題である。

◆方 針

目 的

市内の社会資本については、必要な機能を維持しつつ、定期的に点検を行い、将来の維持・更新費用を抑制するため、長寿命化・老朽化対策を推進する。生活道路等の修繕は、将来の効率的な改修の検討をする。なお、新設道路は、道を活かす計画的な道路整備を行い、通行量・利用者等の少ない橋は、廃止・削減の方法を考える。国土地籍調査は、実施地区の作業を効率的に進め、登記完了へつなげる。空家対策は、実態把握調査と二次調査の結果に基づき、特定空家等の指定を行い、除却等の適正な管理を促す。また、空家対策協議会の運営を行う。

◆平成30年度重点方針と目標

○社会基盤整備として、点検結果による舗装修繕計画に基づき舗装改良を実施する。橋梁は、1サイクルの点検が完了するため、結果を踏まえた長寿命化計画の見直しを行う。○生活道路等は、評価による順位に基づき事業を進める。また、事業実施とならない区もあるため、評価内容の見直しも検討する。
○空家対策は、特定空家等の解消を図るため、所有者に対し行政指導を行う。また、空家等所有者に対し解決に向けた支援を行う。○地域協働道ぶしんクリーン事業は、実施基準等の内容の見直しを行う。

◆目 標

・目標の計画と達成状況

計 画
①通行の安全性が確保された状態。 ②橋梁が計画的に維持管理されている状態。 ③空家が適正に管理されている状態。
設定理由
①生活道路、通学路が整備されることにより、通行の安全が確保されるから。 ②橋梁点検を計画的に行うことにより、損傷の事前予測や劣化予測ができるから。 ③空家が適正に管理されることにより、空家の利活用とともに、危険が回避されるから。

◆実績

- ・舗装改良は、修繕計画に基づき、1,732mを実施した。橋梁は、1サイクルの点検結果により長寿命化計画の見直しを行った。
- ・生活道路等の地域要望への対応は、22%・45箇所を実施した。
- ・空家対策は、特定空家等の除却等について指導を行ったが、除却実施には至らなかった。また、空家所有者への支援として無料相談会を3回開催した。
- ・地域協働道ぶしんクリーン事業は、地域の方の活動により249件の実施となった。

◆成果指標（アウトカム）

- ・目標値の計画と達成状況

指標名	道路改良・改修要望への対応割合						
設定理由	対応割合を維持することにより、最低限必要な道路機能を維持できるから。						
算式						単位	%
目標値	計画策定時		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
	30	計画	30	30	30	30	
		実績	30	24	22		
指標名	橋梁点検実施件数						
設定理由	橋梁を計画的に点検することにより、損傷の事前予測や劣化予測ができるから。						
算式						単位	件
目標値	計画策定時		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
	25	計画	50	72	19	50	
		実績	90	44	38		
指標名	地域協働道ぶしんクリーン事業実施件数						
設定理由	実施件数を維持することにより、官民協働での道路、河川の維持管理ができるから。						
算式						単位	件
目標値	計画策定時		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
	156	計画	160	160	260	260	
		実績	256	259	249		

◆目標の実現に向けた今後の取り組み

- ・舗装修繕計画、橋梁長寿命化修繕計画に基づき、施設の長寿命化、コスト縮減を目的に舗装改良及び橋梁の修繕を実施する。
- ・5項目の基準による評価に基づいた優先順位により事業を実施する。また、出来る限り多くの要望に対応したい。
- ・特定空家等の所有者に対し、行政指導を行うとともに、空家の適正な管理を促すため、相談会を開催する。
- ・地域の皆様との協働による道路管理をめざし、地域協働道ぶしんクリーン事業を進める。

◆個別計画

橋梁長寿命化修繕計画／耐震改修促進計画／公営住宅等長寿命化変更計画／舗装長寿命化修繕計画／空家等対策計画

◆特記事項

事務事業名				
国土地籍調査事業				
会計・款・項・目			所管課	
一般・8土木費・1土木管理費・2国土調査費			建設課	
事業概要				施策内順位
地籍調査未実施地区18km ² において ・土地を一筆ごとに所在、所有者、地番及び地目の調査を実施 ・境界及び地積に関する測量 ・地籍簿と地籍図を作成				4/13
				市長公約事項
				無
投入指標		平成28年度	平成29年度	平成30年度
	年度別事業費	46,540千円	46,770千円	50,905千円
	特定財源 国・県支出金	20,955千円	23,923千円	22,125千円
	地方債	0千円	0千円	0千円
	その他	17千円	68千円	0千円
一般財源	25,568千円	22,779千円	28,780千円	
事務事業名				
道路台帳補正業務費				
会計・款・項・目			所管課	
一般・8土木費・2道路橋梁費・1道路橋梁総務費			建設課	
事業概要				施策内順位
・道路法第28条に基づく道路台帳の調整を行う。道路の現況を把握し道路台帳へ反映させる。 ・所有権移転がなされていない認定道路敷地（未登記道路）が存在しており、すでに道路として利用されている部分を寄附いただくなど、市民の理解と協力を得ながら積極的に解消を推進する。				11/13
				市長公約事項
				無
投入指標		平成28年度	平成29年度	平成30年度
	年度別事業費	20,900千円	15,156千円	14,926千円
	特定財源 国・県支出金	0千円	0千円	0千円
	地方債	0千円	0千円	0千円
	その他	0千円	0千円	0千円
一般財源	20,900千円	15,156千円	14,926千円	
事務事業名				
市道維持補修事業				
会計・款・項・目			所管課	
一般・8土木費・2道路橋梁費・2道路維持費			建設課	
事業概要				施策内順位
パトロール等による状況把握と維持補修作業を組み合わせ、建設施設の機能保全を図る。				5/13
				市長公約事項
				無
投入指標		平成28年度	平成29年度	平成30年度
	年度別事業費	137,863千円	57,456千円	51,267千円
	特定財源 国・県支出金	0千円	0千円	0千円
	地方債	0千円	0千円	0千円
	その他	5,250千円	5,300千円	5,664千円
一般財源	132,613千円	52,156千円	45,603千円	

指標名		単位		平成28年度	平成29年度	平成30年度
活動指標	境界立会いする面積	ha	計画	22	37	25
			実績	22	37	25
	登記完了する地区数	地区	計画	1	1	1
			実績	0	2	1
平成30年度 実績				特記事項		
年間スケジュールどおりに5地区同時に進めることができた。また、中央6区の登記も完了した。						
目標の実現に向けた今後の取り組み						
行程の異なる地区（中央9区～中央12区）を同時に進めるため、対象地区のスケジュールを常時共有し、滞る地区がないよう効率的に進める。						
指標名		単位		平成28年度	平成29年度	平成30年度
活動指標	正確な道路台帳の補正	回	計画	1	1	1
			実績	1	1	1
	未登記解消筆数	筆	計画	100	100	100
			実績	72	23	28
平成30年度 実績				特記事項		
道路台帳補正漏れ、工事による変更を正確に反映させ、適正に補正を行った。未登記道路敷28筆を解消した。						
目標の実現に向けた今後の取り組み						
<ul style="list-style-type: none"> ・市道の新設、廃止、工事による変更等に伴う道路台帳の整備を適正に行う。 ・洗い出し作業により把握している未登記道路敷について計画的に処理を行う。 ・市道境界立会いや地籍調査業務等で判明した未登記道路敷について速やかに解消を図る。 						
指標名		単位		平成28年度	平成29年度	平成30年度
活動指標	区の道ぶしんクリーン事業参加率	区	計画	68	68	68
			実績	66	66	67
	施設破損個所の30日以内での作業完了率	%	計画	100	100	100
			実績	100	100	100
平成30年度 実績				特記事項		
道ぶしんクリーン事業への参加を推進し、66区の参加により延べ延長898kmにおいて、道路を中心とした清掃作業を実施した。発見及び連絡受付後、早急に支障木処理を行った。						
目標の実現に向けた今後の取り組み						
引き続き地域との協働による道路管理を目指すため、道ぶしんクリーン事業の取組み拡大を推進する。パトロールによる主体的対応と、地域の目を活用した施設管理を行う。						

事務事業名				
占用工事負担金事業				
会計・款・項・目			所管課	
一般・8土木費・2道路橋梁費・2道路維持費			建設課	
事業概要				施策内順位
占用工事に際し(上下水道等)、30m以上道路を掘削する場合に占有者から負担金を徴収し道路管理者が道路の復旧を実施する。				9/13
				市長公約事項
				無
投入指標		平成28年度	平成29年度	平成30年度
	年度別事業費	0千円	4,903千円	0千円
	特定財源			
	国・県支出金	0千円	0千円	0千円
	地方債	0千円	0千円	0千円
	その他	0千円	4,596千円	0千円
	一般財源	0千円	307千円	0千円
事務事業名				
市道除融雪事業				
会計・款・項・目			所管課	
一般・8土木費・2道路橋梁費・2道路維持費			建設課	
事業概要				施策内順位
指定する除融雪路線の積雪や凍結による危険を、協力業者との調整により排除する。生活道路の積雪や凍結による危険を、委託業者との調整と地域の協力により排除する。				—
				市長公約事項
				無
投入指標		平成28年度	平成29年度	平成30年度
	年度別事業費	0千円	79,496千円	71,099千円
	特定財源			
	国・県支出金	0千円	0千円	0千円
	地方債	0千円	0千円	0千円
	その他	0千円	0千円	0千円
	一般財源	0千円	79,496千円	71,099千円
事務事業名				
市単道路等整備事業				
会計・款・項・目			所管課	
一般・8土木費・2道路橋梁費・3道路等整備費			建設課	
事業概要				施策内順位
・市道の維持補修、道路改良、舗装改良、側溝改良など				6/13
				市長公約事項
				無
投入指標		平成28年度	平成29年度	平成30年度
	年度別事業費	99,616千円	164,885千円	248,886千円
	特定財源			
	国・県支出金	0千円	0千円	0千円
	地方債	0千円	0千円	36,000千円
	その他	0千円	0千円	0千円
	一般財源	99,616千円	164,885千円	212,886千円

指標名		単位		平成28年度	平成29年度	平成30年度
活動指標	連絡会議開催回数	回	計画	1	1	1
			実績	1	1	0
			計画			
			実績			
平成30年度 実績				特記事項		
<p>施工実績なし。</p>						
<p>目標の実現に向けた今後の取り組み</p>						
<p>占用工事調整会議により占用者の理解を深め、負担金工事による道路構造の保全と円滑な交通の確保に努める。</p>						
指標名		単位		平成28年度	平成29年度	平成30年度
活動指標	除融雪実施路線の延長	Km	計画	0	216	216
			実績	0	216	216
	業務への協力業者数		計画			
			実績			0
平成30年度 実績				特記事項		
<p>除雪業務30業者、融雪剤散布業務10業者への委託により、対応予定路線の除融雪業務を実施した。</p>						
<p>目標の実現に向けた今後の取り組み</p>						
<p>受託業者の確保に努め、対応路線延長を維持する。</p>						
指標名		単位		平成28年度	平成29年度	平成30年度
活動指標	実施率（実施数／要望数）	%	計画	23	23	23
			実績	30	24	22
			計画			
			実績			
平成30年度 実績				特記事項		
<p>45箇所、施工延長L=6,667mの道路維持補修工事、道路改良工事を行った。</p>						
<p>目標の実現に向けた今後の取り組み</p>						
<p>危険性（緊急性）、必要性の高さ、利便性の向上・経済効果、防災・減災効果等を考慮し評価を行い、優先順位に基づき事業を進める。</p>						

事務事業名				
河川整備事業				
会計・款・項・目			所管課	
一般・8土木費・2道路橋梁費・3道路等整備費			建設課	
事業概要				施策内順位
小諸市準用河川N=10箇所L=28,200mのうち、老朽化した護岸等の河川整備工事を実施する。				8/13
				市長公約事項
				無
投入指標		平成28年度	平成29年度	平成30年度
	年度別事業費	8,740千円	12,606千円	4,807千円
	特定財源			
	国・県支出金	0千円	0千円	0千円
	地方債	0千円	0千円	0千円
	その他	0千円	0千円	0千円
	一般財源	8,740千円	12,606千円	4,807千円
事務事業名				
交通安全通学路整備事業				
会計・款・項・目			所管課	
一般・8土木費・2道路橋梁費・3道路等整備費			建設課	
事業概要				施策内順位
区からの要望及び道路管理者が必要とする箇所の安全施設を工事する。 ・通学路歩道設置工事 ・グリーンベルト、区画線設置工事 ・防護柵、安全施設、警戒標識設置工事				7/13
				市長公約事項
				無
投入指標		平成28年度	平成29年度	平成30年度
	年度別事業費	26,858千円	26,860千円	28,346千円
	特定財源			
	国・県支出金	0千円	0千円	0千円
	地方債	0千円	0千円	0千円
	その他	0千円	0千円	0千円
	一般財源	26,858千円	26,860千円	28,346千円
事務事業名				
社会資本整備総合交付金事業（橋梁）				
会計・款・項・目			所管課	
一般・8土木費・2道路橋梁費・3道路等整備費			建設課	
事業概要				施策内順位
橋梁長寿命化修繕計画に基づき修繕及び耐震補強を実施する。 道路法の改正により、橋梁については5年に1回の頻度で点検を行う。				1/13
				市長公約事項
				無
投入指標		平成28年度	平成29年度	平成30年度
	年度別事業費	97,451千円	177,246千円	54,508千円
	特定財源			
	国・県支出金	51,755千円	97,485千円	28,492千円
	地方債	0千円	0千円	8,000千円
	その他	0千円	0千円	0千円
	一般財源	45,696千円	79,761千円	18,016千円

指標名		単位		平成28年度	平成29年度	平成30年度
活動指標	施工延長	m	計画	50	50	50
			実績	51	43	20
			計画			
			実績			
平成30年度 実績				特記事項		
<p>栃木川護岸整備L=20m及び栃木川等のしゅんせつ工事を実施した。</p>						
<p>目標の実現に向けた今後の取り組み</p>						
<p>近年のゲリラ豪雨等による災害に供えるため、継続して河川整備を実施する。</p>						
指標名		単位		平成28年度	平成29年度	平成30年度
活動指標	通学路緊急合同点検に基づく整備実施率（実施数/要望数）	%	計画	60	60	60
			実績	60	52	53
			計画			
			実績			
平成30年度 実績				特記事項		
<p>・歩道設置工事 L=49m ・防護柵等設置工事 L=182m・区画線及びグリーンベルト設置工事 L=17,576m・道路反射鏡設置工事 N=30箇所 ・N=34箇所のうち18箇所対応</p>						
<p>目標の実現に向けた今後の取り組み</p>						
<p>小学校等に通う児童が利用する生活道路における交通事故を防止するため、通学路合同点検結果に基づき歩行空間の整備を実施する。</p>						
指標名		単位		平成28年度	平成29年度	平成30年度
活動指標	主要な施設を跨ぐ橋梁耐震化実施個数（全6橋）	橋	計画	1	1	1
			実績	1	1	0
	橋梁修繕実施個数（全17橋）	橋	計画	1	1	1
			実績	1	1	0
平成30年度 実績				特記事項		
<p>常盤橋修繕工事 補償調査 美南ガ丘横断歩道橋修繕工事 詳細設計 橋梁点検 N=38橋</p>						
<p>目標の実現に向けた今後の取り組み</p>						
<p>橋梁長寿命化修繕計画に基づき、橋の長寿命化を図り、維持管理事業のコスト縮減を目的に橋梁の修繕を実施する。</p>						

政策 5
 施策 5-3

安心して快適に暮らせるまち
 社会基盤の整備と長寿命化を進めます

事務事業名				
社会資本整備総合交付金事業（舗装改良）				
会計・款・項・目			所管課	
一般・8土木費・2道路橋梁費・3道路等整備費			建設課	
事業概要				施策内順位
小諸市舗装長寿命化計画に基づき、小諸市幹線道路の舗装改築工事を実施する。				2/13
				市長公約事項
				無
投入指標		平成28年度	平成29年度	平成30年度
	年度別事業費	33,383千円	46,467千円	66,798千円
	特定財源 国・県支出金	18,315千円	25,556千円	33,339千円
	地方債	0千円	0千円	30,000千円
	その他	0千円	0千円	0千円
	一般財源	15,068千円	20,911千円	3,459千円
事務事業名				
社会資本整備総合交付金事業（交通安全）				
会計・款・項・目			所管課	
一般・8土木費・2道路橋梁費・3道路等整備費			建設課	
事業概要				施策内順位
通学路点検実施により要危険個所となった箇所の歩道設置を行う。				3/13
				市長公約事項
				無
投入指標		平成28年度	平成29年度	平成30年度
	年度別事業費	23,737千円	8,503千円	47,121千円
	特定財源 国・県支出金	10,724千円	4,976千円	25,911千円
	地方債	0千円	0千円	19,000千円
	その他	0千円	0千円	0千円
	一般財源	13,013千円	3,527千円	2,210千円
事務事業名				
社会資本整備総合交付金事業（トンネル）				
会計・款・項・目			所管課	
一般・8土木費・2道路橋梁費・3道路等整備費			建設課	
事業概要				施策内順位
道路法の改正により、トンネル点検を5年に1回の頻度で行う。				—
				市長公約事項
				無
投入指標		平成28年度	平成29年度	平成30年度
	年度別事業費	0千円	0千円	3,942千円
	特定財源 国・県支出金	0千円	0千円	2,167千円
	地方債	0千円	0千円	0千円
	その他	0千円	0千円	0千円
	一般財源	0千円	0千円	1,775千円

活動指標	指標名	単位		平成28年度	平成29年度	平成30年度
	施工延長	m	計画	1,500	1,600	1,500
	実績		350	591	522	
	計画					
	実績					
平成30年度 実績				特記事項		
<p>○市道0135号線（西原 インターアクセス）L=200m C=16,956千円 ○市道0146号線（和田 旧141号） L=322m C=49,842千円</p>						
<p align="center">目標の実現に向けた今後の取り組み</p>						
<p>舗装修繕計画に基づき幹線道路の長寿命化を図り、コスト縮減を目的に舗装改良を実施する。</p>						
活動指標	指標名	単位		平成28年度	平成29年度	平成30年度
	歩道改良延長	m	計画	150	120	150
	実績		40	97	125	
	計画					
	実績					
平成30年度 実績				特記事項		
市道0119号線（市）L=125m の施工を行った。						
<p align="center">目標の実現に向けた今後の取り組み</p>						
<p>小学校等に通う児童が利用する通学路及び生活道路における交通事故を防止するため、安全・安心な歩行空間の整備を実施する。</p>						
活動指標	指標名	単位		平成28年度	平成29年度	平成30年度
			計画			
			実績			
			計画			
			実績			
平成30年度 実績				特記事項		
トンネル点検2箇所						
<p align="center">目標の実現に向けた今後の取り組み</p>						
<p>トンネル長寿命化計画に基づき、トンネルの長寿命化を図り、コスト縮減を目的にトンネルの修繕を実施する。</p>						

事務事業名				
都市公園維持管理事業				
会計・款・項・目			所管課	
一般・8土木費・3都市計画費・4都市公園事業費			都市計画課	
事業概要				施策内順位
<ul style="list-style-type: none"> 公園の維持管理 遊具点検 公園施設長寿命化計画の実施 公園クリーン活動奨励金の交付 				13/13
				市長公約事項
				無
投入指標		平成28年度	平成29年度	平成30年度
	年度別事業費	21,695千円	18,476千円	21,390千円
	特定財源			
	国・県支出金	0千円	0千円	0千円
	地方債	0千円	0千円	0千円
	その他	1,749千円	1,703千円	1,866千円
	一般財源	19,946千円	16,773千円	19,524千円
事務事業名				
住宅管理費運営費				
会計・款・項・目			所管課	
一般・8土木費・4住宅費・1住宅管理費			建設課	
事業概要				施策内順位
【運営費】 公営住宅法、小諸市営住宅条例等に基づき、低所得者のための市営住宅（772戸）を供給する。				—
				市長公約事項
				無
投入指標		平成28年度	平成29年度	平成30年度
	年度別事業費	35,727千円	39,617千円	42,058千円
	特定財源			
	国・県支出金	1,620千円	1,593千円	3,255千円
	地方債	0千円	0千円	0千円
	その他	0千円	38,024千円	38,803千円
	一般財源	34,107千円	0千円	0千円
事務事業名				
住宅耐震化事業				
会計・款・項・目			所管課	
一般・8土木費・4住宅費・2住宅政策費			建設課	
事業概要				施策内順位
市内の既存住宅・建築物の耐震診断とその結果に基づく耐震改修を促進する。				12/13
				市長公約事項
				無
投入指標		平成28年度	平成29年度	平成30年度
	年度別事業費	2,096千円	1,832千円	1,320千円
	特定財源			
	国・県支出金	1,572千円	1,329千円	990千円
	地方債	0千円	0千円	0千円
	その他	0千円	0千円	0千円
	一般財源	524千円	503千円	330千円

活動指標	指標名	単位		平成28年度	平成29年度	平成30年度
	職員による日常点検及び清掃		回	計画	492	492
実績				492	492	492
専門業者による遊具定期点検		回	計画	18	18	18
			実績	18	18	18
平成30年度 実績				特記事項		
<ul style="list-style-type: none"> ・都市公園10箇所、緑地等40箇所の公園管理業務を実施した。 ・都市公園8箇所、緑地10箇所の遊具点検を実施した。 ・公園クリーン活動奨励金の交付N=9箇所。 						
目標の実現に向けた今後の取り組み						
<ul style="list-style-type: none"> ・都市公園10箇所、緑地40箇所の維持管理業務を実施する。 ・都市公園8箇所、緑地10箇所の専門業者による遊具点検1回/年、及び職員による遊具点検1回/月を実施する。 ・市民協働による地域に密着した公園管理を推進するため、公園クリーン活動補助金制度について広報にて周知する。 						
活動指標	指標名	単位		平成28年度	平成29年度	平成30年度
				計画		
実績						
			計画			
			実績			
平成30年度 実績				特記事項		
<ul style="list-style-type: none"> ・施設の破損等に対し、迅速かつ適切に補修を行った。 ・富士見平団地の耐震診断（2棟分）を実施した。 						
目標の実現に向けた今後の取り組み						
活動指標	指標名	単位		平成28年度	平成29年度	平成30年度
	精密耐震診断件数	件	計画	26	28	20
実績			14	13	5	
耐震改修事業補助件数	件	計画	10	11	4	
		実績	2	1	1	
平成30年度 実績				特記事項		
<ul style="list-style-type: none"> ・耐震診断件数 5 件 ・耐震改修補助件数 1 件 						
目標の実現に向けた今後の取り組み						
<ul style="list-style-type: none"> ・広報こもろや市ホームページ等により積極的に事業の周知を図る。 ・過去に耐震診断を実施した所有者に対し、耐震改修のダイレクトメールを送付する。 						

政策 5
 施策 5-3

安心して快適に暮らせるまち
 社会基盤の整備と長寿命化を進めます

事務事業名				
特定空家対策事業				
会計・款・項・目			所管課	
一般・8土木費・4住宅費・3空家対策費			建設課	
事業概要				施策内順位
空家建築物等の実態把握を行ない、所有者の特定・改善依頼をはじめ、「空家等対策の推進に関する特別措置法」に基づき、空家等対策計画の策定・特定空家の除去等を行う。				10/13
				市長公約事項
				無
投入指標		平成28年度	平成29年度	平成30年度
	年度別事業費	9,600千円	429千円	207千円
	特定財源			
	国・県支出金	4,307千円	0千円	0千円
	地方債	0千円	0千円	0千円
	その他	0千円	0千円	0千円
	一般財源	5,293千円	429千円	207千円

指 標 名		単 位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	
活動指標	特定空家等の除却	棟	計画	1	1	3
			実績	1	0	0
平成30年度 実績			特 記 事 項			
<ul style="list-style-type: none"> ・空家等の現地調査を随時行い、必要に応じ所有者等に対し文書による通知を行った。 ・空家対策協議会を2回開催した。 ・空家に関する無料相談会を3回開催した。 						
目標の実現に向けた今後の取り組み						
<ul style="list-style-type: none"> ・空家のデータの更新を随時行う。 ・特定空家等の所有者に対し行政指導を行う。 ・無料相談会を3回開催し、所有者の責任による空家の適正な管理を促す。 						

政策 5
 施策 5-3

安心して快適に暮らせるまち
 社会基盤の整備と長寿命化を進めます

事務事業名	
土木総務費運営費	
会計・款・項・目	所管課
一般・8土木費・1土木管理費・1土木総務費	建設課
事務事業名	
土木総務費給与費	
会計・款・項・目	所管課
一般・8土木費・1土木管理費・1土木総務費	建設課
事務事業名	
道路橋梁単独災害復旧事業	
会計・款・項・目	所管課
一般・11災害復旧費・2公共土木施設災害復旧費・1公共土木施設災害復旧費	建設課
事務事業名	
事務費運営費	
会計・款・項・目	所管課
住新・1事務費・1事務費・1事務費	建設課
事務事業名	
住宅新築資金等貸付事業債元金償還金	
会計・款・項・目	所管課
住新・2公債費・1公債費・1元金	建設課
事務事業名	
住宅新築資金等貸付事業債利子償還金	
会計・款・項・目	所管課
住新・2公債費・1公債費・2利子	建設課
事務事業名	
予備費	
会計・款・項・目	所管課
住新・3予備費・1予備費・1予備費	建設課

投入指標		平成28年度	平成29年度	平成30年度
	年度別事業費	7,753千円	11,171千円	7,915千円
	特定財源			
	国・県支出金	0千円	0千円	0千円
	地方債	0千円	0千円	0千円
	その他	0千円	0千円	1,146千円
	一般財源	7,753千円	11,171千円	6,769千円
投入指標		平成28年度	平成29年度	平成30年度
	年度別事業費	112,822千円	119,796千円	128,620千円
	特定財源			
	国・県支出金	0千円	0千円	0千円
	地方債	0千円	0千円	0千円
	その他	0千円	0千円	0千円
	一般財源	112,822千円	119,796千円	128,620千円
投入指標		平成28年度	平成29年度	平成30年度
	年度別事業費	0千円	7,873千円	19,589千円
	特定財源			
	国・県支出金	0千円	0千円	0千円
	地方債	0千円	0千円	0千円
	その他	0千円	0千円	0千円
	一般財源	0千円	7,873千円	19,589千円
投入指標		平成28年度	平成29年度	平成30年度
	年度別事業費	6,226千円	8,058千円	6,884千円
	特定財源			
	国・県支出金	896千円	907千円	899千円
	地方債	0千円	0千円	0千円
	その他	0千円	0千円	0千円
	一般財源	5,330千円	7,151千円	5,985千円
投入指標		平成28年度	平成29年度	平成30年度
	年度別事業費	3,758千円	2,798千円	2,495千円
	特定財源			
	国・県支出金	0千円	0千円	0千円
	地方債	0千円	0千円	0千円
	その他	0千円	0千円	0千円
	一般財源	3,758千円	2,798千円	2,495千円
投入指標		平成28年度	平成29年度	平成30年度
	年度別事業費	441千円	297千円	197千円
	特定財源			
	国・県支出金	0千円	0千円	0千円
	地方債	0千円	0千円	0千円
	その他	0千円	0千円	0千円
	一般財源	441千円	297千円	197千円
投入指標		平成28年度	平成29年度	平成30年度
	年度別事業費	0千円	0千円	0千円
	特定財源			
	国・県支出金	0千円	0千円	0千円
	地方債	0千円	0千円	0千円
	その他	0千円	0千円	0千円
	一般財源	0千円	0千円	0千円

政策 5	安心して快適に暮らせるまち
施策 5-4	安全な水道水の安定供給と持続的な安定経営を進めます

所 管	201000 建設水道部・上水道課
関 連	—
関 連	—
関 連	—
関 連	—
関 連	—

◆現状と課題

小諸市の水道水源は、湧水と深井戸のみで水量・水質共に安定した供給を行っているが、高度成長期以降に整備された施設が法定耐用年数を迎え始め、水道施設の老朽化が進んでおり、加えて近年の異常気象による水質悪化の懸念もあり、また人口減少問題により水道料金収入の減少も見込まれている。このため、施設の更新とその財源確保が大きな課題となっている。また、技術の継承、スキルの向上など人材育成も課題となっている。このような水道事業の実態などを使用者へ適切に情報提供していくことも重要な課題である。

◆方 針

目 的

平成28年度に策定した小諸市上水道事業基本計画に基づく、小諸市上水道事業実施計画により事業推進を図り、将来も持続可能な水道事業の基盤を構築する。また、利用者に適切な情報提供を行い水道事業の理解度を深める。

◆平成30年度重点方針と目標

- ①小諸市上水道事業基本計画における実施計画の実行
- ②公民連携による民間活力を生かした事業運営への移行

◆目 標

・目標の計画と達成状況

計 画

- ①小諸市上水道事業基本計画に基づいた施設整備、経営改革により、将来も持続可能な水道事業の基盤を構築するとともに、計画の進捗状況のチェック、業務状況の確認を行い、効率的な計画実施が図れる状態。
- ②適切な情報提供により、水道利用者の水道事業に対する理解度が深まる状態。

設定理由

- ①②小諸市上水道事業基本計画は、水道事業全般を見直し、配水計画や水利用計画、経営戦略を含めた総合的な計画であり、この基本計画の確実な実行が水道事業の課題克服に直結するため。

◆実績

- ①小諸市上水道事業実施計画により事業推進を図ることが出来た。
 ②公募による民間企業と株主間協定を締結し、公民共同企業体「㈱水みらい小諸」を設立し、小諸市議会の議決を経て、水道施設等の指定管理者として指定した。

◆成果指標（アウトカム）

・目標値の計画と達成状況

指標名	総収支比率（総収益／総費用）×100						
設定理由	総収益と総支出の総体的バランスを見ることで、経営状況を判定できるため。						
算式						単位	%
目標値	計画策定時		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
	114.2	計画	113.8	112.1	110	106	
		実績	113.5	120.7	118.6		
指標名	管路更新率（その年度に更新された管路延長／管路総延長）×100						
設定理由	安定経営を行う中で、管路施設への投資がどのくらいできたか判定できるため。						
算式						単位	%
目標値	計画策定時		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
	0.05	計画	0.18	0.3	0.7	0.5	
		実績	0.1	0.1	0.1		
指標名							
設定理由							
算式						単位	
目標値	計画策定時		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
		計画					
		実績					

◆目標の実現に向けた今後の取り組み

- ①小諸市上水道事業基本計画に基づく実施計画により、引き続き事業推進を図る。
 ②指定管理者「㈱水みらい小諸」に委託した水道施設の維持管理業務、料金関係業務、給水申請業務等について、良好な運営が来ているか事業主体として確実なモニタリングを行う。

◆個別計画

環境基本計画／地域防災計画／小諸市上水道事業基本計画／小諸市水道ビジョン2017／小諸市上水道事業実施計画書（平成30年度～平成35年度）

◆特記事項

政策 5
 施策 5-4

安心して快適に暮らせるまち
 安全な水道水の安定供給と持続的な安定経営を進めます

事務事業名				
小諸市水道事業				
会計・款・項・目			所管課	
水道			上水道課	
事業概要				施策内順位
・小諸市水道事業				1/1
				市長公約事項
				無
投入 指標		平成28年度	平成29年度	平成30年度
	年度別事業費	1,327,028 千円	1,131,285 千円	1,146,883 千円
	国・県支出金	26,436 千円	10,023 千円	0 千円
	地方債	50,800 千円	8,200 千円	0 千円
	その他	0 千円	0 千円	0 千円
	一般財源	1,249,792 千円	1,113,062 千円	1,146,883 千円

指 標 名		単 位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	
活動指標	総収支比率	%	計画	113.8	112.1	110
			実績	113.5	120.7	118.6
	管路更新率	%	計画	0.18	0.3	0.7
			実績	0.1	0.1	0.1
平成30年度 実績			特 記 事 項			
<ul style="list-style-type: none"> ・実施計画に基づき、西小諸配水池のろ過施設設置工事の着手、御牧ヶ原地区の石綿管布設替工事を行った。 ・民間活力を活かした事業運営に向け、公民共同企業体を設立し、指定管理者として指定した。 						
目標の実現に向けた今後の取り組み						
<ul style="list-style-type: none"> ・公民共同企業体での業務開始に向け、スムーズな移行ができるよう適切な引継ぎを行う。 ・実施計画に基づいた更新、設備設置を行うと共に、公民連携による水道事業の基盤強化を図る。 						

政策 5	安心して快適に暮らせるまち
施策 5-5	安全で安心な暮らしを実現する体制を充実させます

所 管	010900 総務部・危機管理課
関 連	052000 市民生活部・生活環境課
関 連	050500 市民生活部・市民課
関 連	010700 総務部・総務課
関 連	011500 総務部・消防課
関 連	—

◆現状と課題

共助のための「自主防災組織」について、未だ組織化できていない行政区があり、また、組織化されていても自主防災組織が主導して防災訓練を実施している区は半数以下である。異常気象による局地的な集中豪雨や大型台風の発生・上陸、大規模地震、浅間山の火山活動など、いざ有事の際に、被害を最小限にとどめる「減災」の取組強化が必要である。なお、第9次基本計画での取り組みにより、火災件数は減少傾向にあるが、住宅用火災報知器の設置率の低さが課題となっている。また、消防庁舎の老朽化と耐震性が不十分なため早急な対応が課題となっている。

◆方 針

目 的

地域全体で安全・安心なまちをつくるため、関係機関の連携強化と住民意識の高揚を図るとともに、老朽化した消防庁舎を再構築し、「災害に強いまちづくり」を進める。

◆平成30年度重点方針と目標

災害に備え、市内全区で自主防災組織の組織化を進め、将来的に全ての区で自主的に避難訓練が行なわれることを目指し、住民学習会等のサポートを行い、住民意識の高揚を図る。
防災対応の拠点施設である消防庁舎の再構築に向けて、実施設計業務を早期に発注し、年度内に新築工事に着手する。

◆目 標

・目標の計画と達成状況

計 画
①市及び行政区で、それぞれの役割に応じた防災・防犯体制が構築され、全ての地域で様々な手段により防災行政情報を入手できる状態。 ②市民が避難方法や避難場所等を熟知している状態。 ③防災、防犯意識が高まっている状態。 ④交通事故発生件数が減少し、かつ、交通事故死亡者がゼロになり、安全で安心して暮らせる状態。
設定理由
①地域の防災力の向上を図ること及び市等からの情報発信の手段を複数確保することで、市民への情報伝達力の向上が図れるから。 ②避難方法や避難場所等を熟知していれば、有事の際にスムーズに避難できるから。 ③防災・防犯意識が高まれば、地域において主体的な役割を担ってもらえるようになるから。 ④交通事故、特に死者が出るような重大事故を減少させられれば、安全で安心して暮らせるようになるから。

◆実績

- ①市総合防災訓練を実施し、各区へ参加と周知を図った。また、自主防災組織が組織化されていない区に対して、学習会等の支援を行い、自主防災組織は61区（1区増）となった。
- ②各区で自主防災組織が主体となつての防災訓練の実施を依頼し、55区（6区増）において防災訓練が実施された。
- ③広報、ホームページ等で防災情報の周知・啓発等に努めた。
- ④関係団体等と連携して交通安全運動を実施し、交通死亡事故ゼロを達成。（H28.5.15より継続中）高齢者や学生等、対象者に合わせた交通安全教室（スクエアドストリートや交通安全ミュージカル等）を実施した。

◆成果指標（アウトカム）

・目標値の計画と達成状況

指標名	自主防災組織主導の防災訓練の実施区					
設定理由	災害発生直後は、自助共助が機能することにより被害を最小限に止めることができる。そのためには、自主防災組織が非常時において有効に機能することが必要で、毎年の防災訓練を実施することが有効であるため。					
算式						単位 区
目標値	計画策定時		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	48	計画	51	55	60	65
		実績	51	49	55	
指標名	住宅用火災警報器の設置率					
設定理由	消防法で設置が義務付けられている住宅用火災警報器の普及に努め、設置率が向上することにより、火災の際の被害軽減が図られるため。					
算式						単位 %
目標値	計画策定時		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	76.8	計画	80	83	86	90
		実績	76.9	76.9	77.1	
指標名						
設定理由						
算式						単位
目標値	計画策定時		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
		計画				
		実績				

◆目標の実現に向けた今後の取り組み

68区全てにおいて、自主防災組織の組織化及び継続した取り組みが行われることを目指し、組織化されていない区に対しては引き続き、自主防災組織の設立に向けた学習会の講師を職員が務めるなどの支援を行う。
 毎年実施をしている「小諸市総合防災訓練」は、昨年度から机上訓練に切り替え、市防災訓練に併せて行う区も増えていることから、今後も各区で実施される防災訓練については、自主防災組織主導による「より実効性のある訓練」となるように側面からサポートする。

◆個別計画

地域防災計画／交通安全基本計画

◆特記事項

政策 5 安心して快適に暮らせるまち
 施策 5-5 安全で安心な暮らしを実現する体制を充実させます

事務事業名				
防犯事業				
会計・款・項・目			所管課	
一般・2総務費・1総務管理費・1一般管理費			危機管理課	
事業概要				施策内順位
<ul style="list-style-type: none"> 区等の要望に基づく防犯灯の設置及び防犯灯維持管理経費への補助 区等による小諸市安全で安心なまちづくり事業（防犯活動等）に係る経費への支援 防犯関係機関・団体との連携による組織横断的な活動の推進 				4/10
				市長公約事項
				無
投入指標		平成28年度	平成29年度	平成30年度
	年度別事業費	17,684千円	18,490千円	18,405千円
	特定財源			
	国・県支出金	0千円	0千円	0千円
	地方債	0千円	0千円	0千円
	その他	0千円	0千円	0千円
	一般財源	17,684千円	18,490千円	18,405千円
事務事業名				
セーフコミュニティ推進事業				
会計・款・項・目			所管課	
一般・2総務費・1総務管理費・1一般管理費			危機管理課	
事業概要				施策内順位
<ul style="list-style-type: none"> セーフコミュニティ推進協議会を中心とした安全・安心に関連する取り組みの一体的な推進 外傷調査委員会で分析したデータに基づく各対策委員会の活動の推進 セーフコミュニティ活動に対する啓発事業の実施 セーフコミュニティ認証都市との交流 				7/10
				市長公約事項
				無
投入指標		平成28年度	平成29年度	平成30年度
	年度別事業費	1,514千円	937千円	475千円
	特定財源			
	国・県支出金	0千円	0千円	0千円
	地方債	0千円	0千円	0千円
	その他	0千円	0千円	0千円
	一般財源	1,514千円	937千円	475千円
事務事業名				
防災対策費運営費				
会計・款・項・目			所管課	
一般・2総務費・1総務管理費・10防災対策費			危機管理課	
事業概要				施策内順位
<ul style="list-style-type: none"> 地域防災計画、業務継続計画の見直し、修正 総合防災訓練の年1回の実施 全68区の自主防災組織設立、防災訓練実施、住民支え合いマップ作成・更新の推進 防災講演会、研修会、学習会の定期開催と防災教育充実の推進 防災対策用備蓄品の備蓄推進 				2/10
				市長公約事項
				一部
投入指標		平成28年度	平成29年度	平成30年度
	年度別事業費	19,948千円	14,185千円	7,434千円
	特定財源			
	国・県支出金	0千円	0千円	0千円
	地方債	0千円	0千円	0千円
	その他	0千円	5千円	105千円
	一般財源	19,948千円	14,180千円	7,329千円

指標名		単位		平成28年度	平成29年度	平成30年度
活動指標	既設防犯灯に占めるLED防犯灯の割合	%	計画			
	実績				82	
活動指標	設置基準に基づく防犯灯の設置率	%	計画	100	100	100
	実績		100	100	100	
平成30年度 実績				特記事項		
各区の防犯灯設置要望に基づき、新設及びLED防犯灯交換工事を実施した。また、区・地区自主防災組織等の申請に基づき、安全で安心なまちづくり事業補助金を交付した。				活動指標（アウトプット）の「事業実施数に対する安全で安心なまちづくり事業補助金交付件数の割合」は、達成できていることから、平成30年度から「既設防犯灯に占めるLED防犯灯の割合」に変更。		
目標の実現に向けた今後の取り組み						
防犯灯の新設、LED切替工事を円滑に進めるため、工事が冬期にならないよう申請から工事までのスケジュールの見直しを行う。 安全・安心のまちづくり事業補助金を有効に活用いただけるよう区等への周知を行う。						
指標名		単位		平成28年度	平成29年度	平成30年度
活動指標	推進協議会・各対策委員会・外傷調査委員会の開催回数	回	計画	15	15	15
	実績		7	6	7	
活動指標	市民フォーラム、講演会の開催回数	回	計画	2	2	2
	実績		2	2	2	
平成30年度 実績				特記事項		
各対策委員会を中心にセーフコミュニティ活動を推進し、市民フォーラムの開催等により啓発活動を行った。						
目標の実現に向けた今後の取り組み						
セーフコミュニティ国際認証満了後の活動方針に基づき再編された各対策委員会の活動を中心に、安全安心のまちづくりの取り組みを推進し、安全安心フォーラムでの啓発を行う。						
指標名		単位		平成28年度	平成29年度	平成30年度
活動指標	総合防災訓練の実施	回	計画	1	1	1
	実績		1	1	1	
活動指標	自主防災組織を設立した区の数	回	計画	2	2	2
	実績		2	2	61	
平成30年度 実績				特記事項		
国、県等の計画や制度の変更等を受け地域防災計画、業務継続計画の見直しを行った。 出前講座の実施による自主防災組織の設立、運営の支援や、訓練項目資料の作成、配布等による各区での防災訓練実施の支援を行った。 また、防災対策用品（食料、資材等）の備蓄を進めた。				活動指標（アウトプット）の「自主防災組織の設立・運営支援の実施」は、実施できているため、平成30年度から「自主防災組織を設立した区の数」に変更。		
目標の実現に向けた今後の取り組み						
自主防災組織未設立区への調査において、設立支援の要望をいただいた区への学習会等の支援を行う。 各区の自主防災組織主導の「より実効性のある訓練」となるよう、各区へ防災訓練に関する情報提供等を行う。						

政策 5 安心して快適に暮らせるまち
 施策 5-5 安全で安心な暮らしを実現する体制を充実させます

事務事業名				
防災情報基盤整備・運用事業				
会計・款・項・目			所管課	
一般・2総務費・1総務管理費・10防災対策費			危機管理課	
事業概要				施策内順位
・防災行政無線設備等の保守管理・点検の実施				8/10
				市長公約事項
				無
投入指標		平成28年度	平成29年度	平成30年度
	年度別事業費	454,963千円	12,101千円	10,078千円
	特定財源			
	国・県支出金	33,400千円	0千円	0千円
	地方債	370,400千円	2,300千円	0千円
	その他	85千円	644千円	639千円
	一般財源	51,078千円	9,157千円	9,439千円
事務事業名				
交通安全対策事業				
会計・款・項・目			所管課	
一般・2総務費・7交通安全費・1交通安全費			生活環境課	
事業概要				施策内順位
<ul style="list-style-type: none"> 交通安全運動の実施 小諸市交通安全運動推進協議会の運営 小諸交通安全協会への負担金の交付 交通安全教室の開催 小諸市交通指導員の委嘱 				3/10
				市長公約事項
				無
投入指標		平成28年度	平成29年度	平成30年度
	年度別事業費	2,124千円	1,881千円	1,572千円
	特定財源			
	国・県支出金	0千円	0千円	0千円
	地方債	0千円	0千円	0千円
	その他	0千円	0千円	35千円
	一般財源	2,124千円	1,881千円	1,537千円
事務事業名				
県民交通災害共済事務				
会計・款・項・目			所管課	
一般・2総務費・7交通安全費・1交通安全費			生活環境課	
事業概要				施策内順位
<ul style="list-style-type: none"> 県民交通災害共済への市民の加入促進 交通事故被害者への見舞金の支給 				10/10
				市長公約事項
				無
投入指標		平成28年度	平成29年度	平成30年度
	年度別事業費	2,155千円	2,174千円	2,140千円
	特定財源			
	国・県支出金	0千円	0千円	0千円
	地方債	0千円	0千円	0千円
	その他	0千円	1,838千円	1,806千円
	一般財源	2,155千円	336千円	334千円

活動指標	指標名	単位		平成28年度	平成29年度	平成30年度
	防災情報関連機器の点検実施		実施	計画	実施	実施
実績				実施	実施	実施
アナログ放送終了に伴う代替伝達手段の整備			計画			
			実績			情報収集
平成30年度 実績				特記事項		
防災情報伝達設備の点検・保守管理を行い、防災情報を的確に伝達した。				活動指標（アウトプット）に、平成30年度から「アナログ放送終了に伴う代替伝達手段の整備」を追加		
目標の実現に向けた今後の取り組み						
計画に基づき防災情報伝達設備の定期的な点検及び保守点検を行う。 アナログ放送終了に伴う代替手段について情報を収集し、選定を行う。						
活動指標	指標名	単位		平成28年度	平成29年度	平成30年度
	小諸市における年間交通事故死者数	人	計画	0	0	0
実績			0	1	0	
			計画			
			実績			
平成30年度 実績				特記事項		
・関係団体等と連携して交通安全運動を実施し、交通死亡事故ゼロを達成。（H28.5.15より継続中） ・高齢者や学生など、対象者に合せた交通安全教室（スケアードストレイトや交通安全ミュージカルなど）を実施。						
目標の実現に向けた今後の取り組み						
交通死亡事故ゼロを目指し、引き続き関係団体と連携し交通安全啓発活動を実施する。 特に事故の被害に遭いやすい子どもや高齢者等に向けて、対象者に応じた交通安全教室を開催する。						
活動指標	指標名	単位		平成28年度	平成29年度	平成30年度
	県民交通災害共済加入率	%	計画	66	66	66
実績			65	65	65	
			計画			
			実績			
平成30年度 実績				特記事項		
・加入促進のため、共済事業ならではの掛金に対する見舞金の高さをPRした。 ・交通事故被害者の立ち直りを支援するため見舞金の支払いを行った。						
目標の実現に向けた今後の取り組み						
交通事故被害者の立ち直りを支援するため、見舞金の支払いを行う。 加入促進のため、共済事業ならではの利点などをふまえた制度の周知を行う。						

政策 5
 施策 5-5

安心して快適に暮らせるまち
 安全で安心な暮らしを実現する体制を充実させます

事務事業名				
消費者行政事業				
会計・款・項・目			所管課	
一般・3民生費・1社会福祉費・6市民相談事業費			市民課	
事業概要				施策内順位
消費生活センターの運営 ・専門相談員による相談・あっせん及び消費者教育などの被害予防啓発 ・自家消費食品の放射性物質検査				9/10
				市長公約事項
				無
投入指標		平成28年度	平成29年度	平成30年度
	年度別事業費	1,824千円	1,380千円	1,357千円
	特定財源 国・県支出金	1,143千円	697千円	679千円
	地方債	0千円	0千円	0千円
	その他	0千円	0千円	0千円
	一般財源	681千円	683千円	678千円
事務事業名				
佐久広域連合負担金				
会計・款・項・目			所管課	
一般・9消防費・1消防費・1常備消防費			消防課	
事業概要				施策内順位
佐久広域連合組織市町村からの市町村分担金を計画的・効率的に適正な執行を図る。				—
				市長公約事項
				無
投入指標		平成28年度	平成29年度	平成30年度
	年度別事業費	292,127千円	327,398千円	317,966千円
	特定財源 国・県支出金	0千円	0千円	0千円
	地方債	0千円	0千円	0千円
	その他	5,959千円	0千円	4,900千円
	一般財源	286,168千円	327,398千円	313,066千円
事務事業名				
非常備消防費運営費				
会計・款・項・目			所管課	
一般・9消防費・1消防費・2非常備消防費			消防課	
事業概要				施策内順位
消防組織法に基づき市町村に設置される消防機関の運営。				5/10
				市長公約事項
				無
投入指標		平成28年度	平成29年度	平成30年度
	年度別事業費	84,372千円	76,293千円	82,305千円
	特定財源 国・県支出金	0千円	0千円	0千円
	地方債	0千円	0千円	0千円
	その他	22,161千円	0千円	19,905千円
	一般財源	62,211千円	76,293千円	62,400千円

指標名		単位		平成28年度	平成29年度	平成30年度
活動指標	相談員相談日数	日	計画	160	160	160
			実績	162	154	150
	通話録音装置貸与数	器	計画	90	90	90
			実績	52	51	47
平成30年度 実績				特記事項		
<p>・消費生活相談員による相談、あっせんなどを行い、消費者トラブルの被害の予防及び救済をした。</p> <p>・広報こもろへの掲載、コミュニティテレビでの放映など様々な媒体を活用し、被害防止の啓発をした。また、若年層向けとして、小学生や高校卒業予定者へのファイルやリーフレット（400部）の配布を行った。</p>						
<p>目標の実現に向けた今後の取り組み</p> <p>・広報やホームページ、SNSなどあらゆる媒体を活用し、市民向け注意喚起を継続する。</p> <p>・高齢者の被害防止のため、見守りや支援をする人々への啓発や協力要請等を行う。</p> <p>・成年年齢引き下げを3年後にひかえ、啓発対象者の拡大を行う。</p> <p>・県機関の巡回訪問（月1回）を活用し、タイムリーな案件を共有する。</p>						
指標名		単位		平成28年度	平成29年度	平成30年度
活動指標			計画			
			実績			
			計画			
			実績			
平成30年度 実績				特記事項		
<p>・指揮隊と各署との連携訓練及び指揮隊の署所からの試験的出動を実施し、初動体制及び現場活動の有効性を図った。</p> <p>・多人数傷病者発生時の救急隊活動を確実に実施するため、救急トリアージ訓練を定期的に実施した。</p> <p>・広域的な訓練を行うことにより、他団体との連携強化・協力体制の構築を図った。</p>						
<p>目標の実現に向けた今後の取り組み</p> <p>安心・安全な地域づくりに向け消防力強化を図るため、消防車両や消防資機材の更新を消防本部と協議し進めていく。指揮隊の本格運用により、消防職員の安全確保及び円滑かつ効率的な消防活動を図っていく。</p> <p>市や消防団等の関係機関はもちろん、各種団体や民間事業所も含め、より高度な各種災害対応訓練を行い、更なる連携強化及び協力体制の構築を進めていく。</p>						
指標名		単位		平成28年度	平成29年度	平成30年度
活動指標	消防団員数	人	計画	850	850	850
			実績	850	839	832
			計画			
			実績			
平成30年度 実績				特記事項		
<p>・団員の充足率は年度末で98%であった。 ・年次計画による事業・訓練・教養、県・北佐久消防協会の事業を実施。北佐久消防協会水防訓練を小諸市で実施。 ・訓練及び現場での確実な情報伝達のため屋外放送設備を本部へ配備した。 ・女性班の応急手当講習会へ普及員として出向。火災予防広報に出向。</p>						
<p>目標の実現に向けた今後の取り組み</p> <p>地域防災力確保の観点から、消防団員の確保は最重要課題ととらえ、県と協力しながらメディアを通じた広報活動の実施等、様々な取り組みを行っていく。また、団独自でも現状の問題点や課題を洗い出すとともに団員確保施策について検討し入団促進につなげていく。</p> <p>市民に対して地域の消防防災体制や行方不明者捜索活動に対応できる、動員力のある消防団の必要性や活動等を広報し、理解を深めていただく。災害時の消防団の対応力を強化するため、国で示す装備品について充実を図っていく。</p>						

政策 5
 施策 5-5

安心して快適に暮らせるまち
 安全で安心な暮らしを実現する体制を充実させます

事務事業名				
消防施設費運営費				
会計・款・項・目			所管課	
一般・9消防費・1消防費・3消防施設費			消防課	
事業概要				施策内順位
消防組織法による小諸市消防団の運営。				6/10
				市長公約事項
				無
投入指標		平成28年度	平成29年度	平成30年度
	年度別事業費	41,168千円	39,773千円	11,842千円
	特定財源			
	国・県支出金	0千円	0千円	0千円
	地方債	28,600千円	0千円	8,000千円
	その他	0千円	0千円	0千円
	一般財源	12,568千円	39,773千円	3,842千円
事務事業名				
消防庁舎整備事業				
会計・款・項・目			所管課	
一般・9消防費・1消防費・3消防施設費			消防課	
事業概要				施策内順位
耐震強度不足と老朽化に伴う小諸消防署庁舎の移転建て替え。				1/10
				市長公約事項
				無
投入指標		平成28年度	平成29年度	平成30年度
	年度別事業費	0千円	3,004千円	44,869千円
	特定財源			
	国・県支出金	0千円	0千円	0千円
	地方債	0千円	3,004千円	44,869千円
	その他	0千円	0千円	0千円
	一般財源	0千円	0千円	0千円

指 標 名		単 位		平成28年度	平成29年度	平成30年度
活動 指 標	小型動力消防ポンプ更新数	台	計画	2	2	2
			実績	2	2	2
	小型動力ポンプ積載車更新数	台	計画	1	1	1
			実績	1	1	1
平成30年度 実績				特 記 事 項		
<ul style="list-style-type: none"> ・小型動力ポンプ2台 第4分団第3部・第6分団第4部を更新した。 ・小型動力ポンプ積載車1台 第2分団第2部を更新した。 ・消防施設整備事業 消火栓設置2件、消火栓器具28件、詰所等の新築・改築3件に補助金を交付した。 						
<p align="center">目標の実現に向けた今後の取り組み</p> <p>消防団車両について、現在導入されている車種は、一部を除き安全面において改善する必要がある。新たに購入する車種については安全面に配慮していく。</p> <p>地域防災力の充実・確保の観点から、各区の消火栓施設整備・更新計画に補助金の交付を今後も行っていく。</p>						
指 標 名		単 位		平成28年度	平成29年度	平成30年度
活動 指 標	庁舎建設の検討	回	計画			12
			実績			48
			計画			
			実績			
平成30年度 実績				特 記 事 項		
<ul style="list-style-type: none"> ・建設に係わる設計・管理委託業務の契約及び実施計画の確定。 ・建設工事委託業者の入札及び契約実施。 ・庁舎進入路の土地購入。 						
<p align="center">目標の実現に向けた今後の取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・建設工事契約の履行。 ・新庁舎の備品及び機器の購入。 ・新庁舎に関する運用計画の策定、業務継続計画の見直しを図っていく。 						